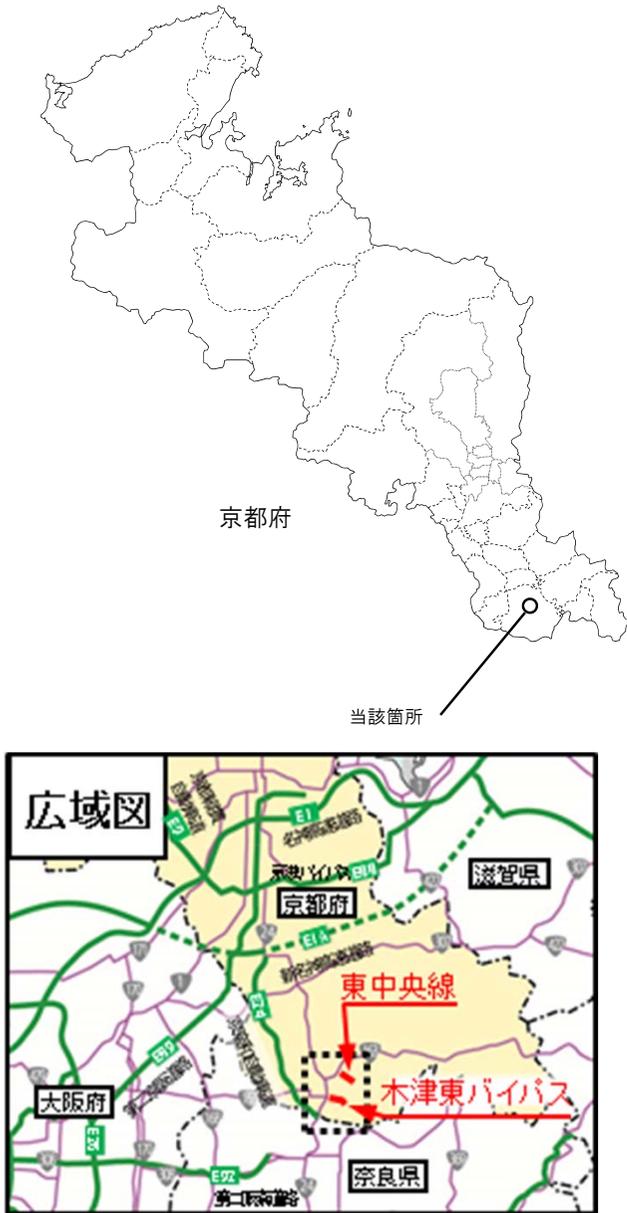


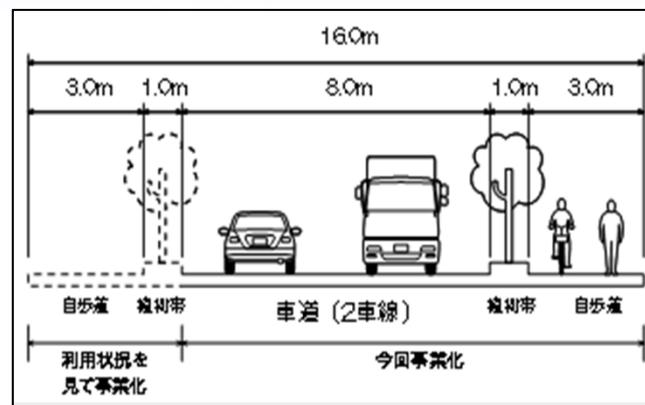
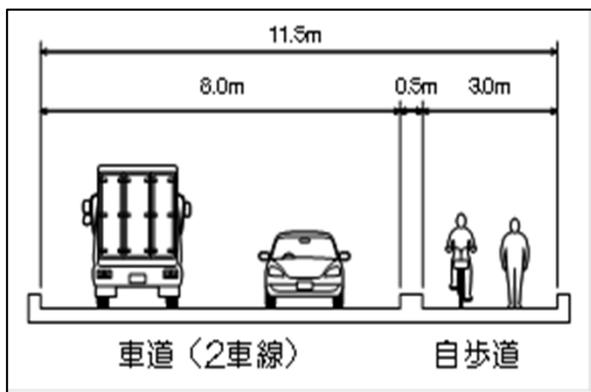
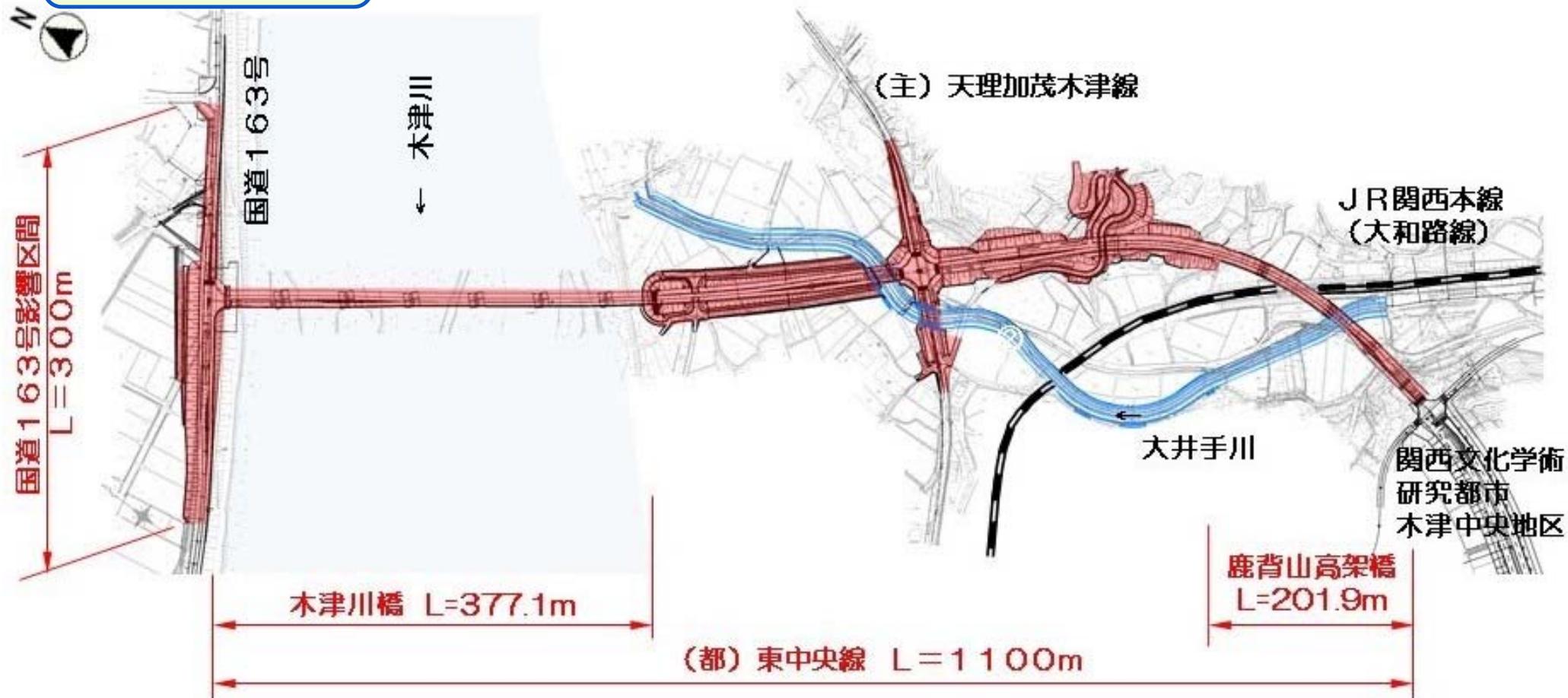
事業概要

応募No.	15		
事業主体	京都府	実施都市名	木津川市
応募者名	京都府建設交通部道路建設課		
ふりがな 事業名称	としけいくどうろ ひがしちゅうおうせん 都市計画道路 東中央線 街路事業		
事業概要 (400字以内)	<p>都市計画道路東中央線は、京都府^{きづがわ}木津川市の京奈和自動車道木津インターチェンジから関西文化学術研究都市木津中央地区を通過し、一級河川木津川を渡り国道163号に接続する都市計画道路です。</p> <p>本路線のうち、木津中央地区の整備完了区間を除く、国道163号までの1.4kmの区間について、平成21年度に事業着手し、令和2年3月15日に開通しました。</p> <p>本事業は、直轄(京都国道事務所)事業による木津東バイパス(L=0.6km)と同時に開通することにより、木津中央地区と木津川市の中心市街地を結ぶ新たなネットワークの形成によるアクセス性の向上や地域のまちづくりを支援するほか、国道24号、国道163号の重複区間における慢性的な交通混雑の緩和、災害や事故等の緊急時における代替機能を確保することによる防災機能の向上等を目的として整備しました。</p>		
事業規模	事業延長	L=1.4km	
	幅員	W=11.0~16.0m	
	事業期間	平成21年度~令和2年度	
	事業費	約70.4億円	

事業位置図



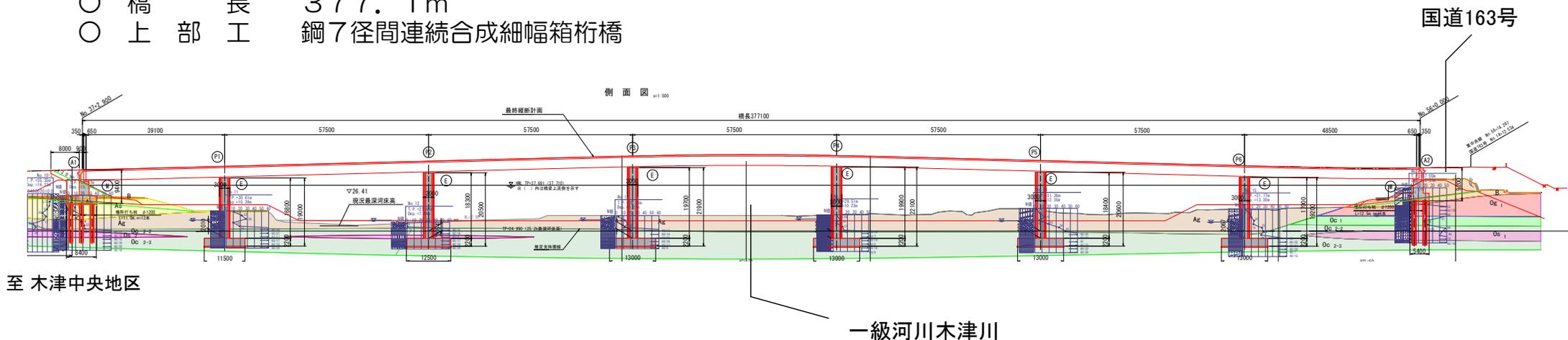
平面図・横断図



橋梁一般図

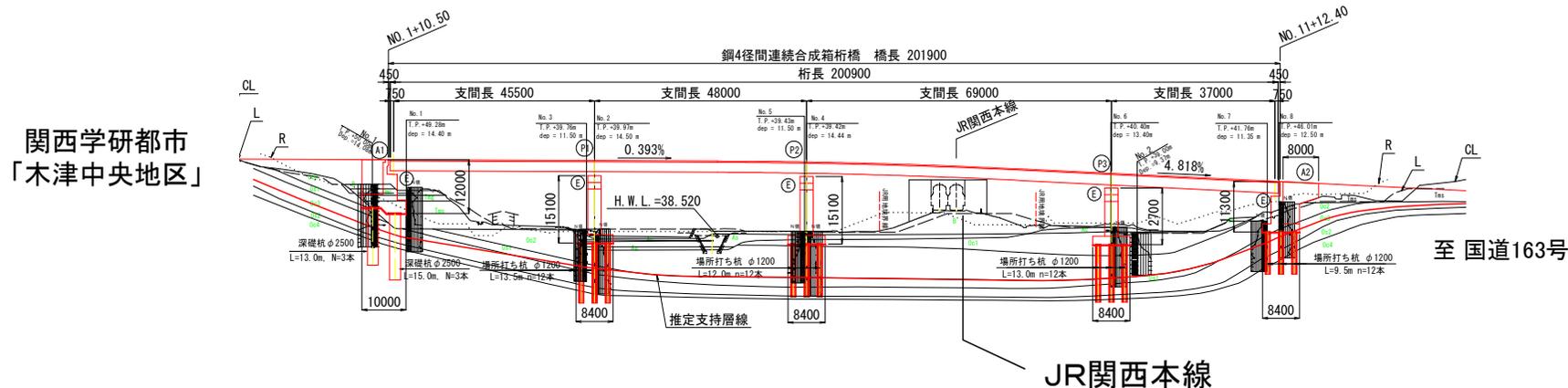
【木津川橋 (きづがわはし)】

- 橋 長 377.1m
- 上部工 鋼7径間連続合成細幅箱桁橋



【鹿背山高架橋 (かせやまこうかきょう)】

- 橋 長 201.9m
- 上部工 鋼4径間連続合成箱桁橋



路線全体の進捗状況



改良済み区間

事業前写真



事業後写真

(東中央線街路事業)



事業効果アピール資料

<整備効果② 交通渋滞の緩和>

上拍四丁町交差点～大谷交差点は、国道24号と国道163号の重複区間であり、交通量が交通容量を超過し、慢性的な交通混雑が発生していました。

東中央線と木津東バイパスを一体的に整備することで、重複区間に並行する新たなネットワークが形成され、交通混雑の緩和が図られました。



■ 国道24号と東中央線の交通分担

	事前 (台/12h)	事後 (台/12h)	増減比 (後/前)
<1> 泉大橋	17,984	14,305	79.5%
<2> 木津川橋	0	5,274	皆増
計	17,984	19,579	108.9%

事業効果アピール資料

<整備効果③ 代替輸送路の確保>

東中央線に併走する国道24号は、第1次緊急輸送道路に指定されており、山城南医療圏で唯一の災害拠点病院へのアクセス道路として市民生活に欠くことができない道路です。東中央線の整備により、代替路確保や広域的なりだんダンシーの確保が可能となり、防災機能が飛躍的に向上しました。

梅雨前線豪雨により7月29日に発生した落石・崩土による約3週間にわたる全面通行止めでは、東中央線が迂回路として利用され、交通の円滑化に寄与しました。



苦労や工夫等アピール資料

○景観への配慮

「穏やかな周辺環境に馴染みお茶の里に相応しい落ち着いたみちの創造」
を整備方針として学識者等による景観検討委員会を開催

◆木津川橋及び鹿背山高架橋の上部工主桁部等

- ・気品や明るく軽快なイメージが感じられるベージュ色



木津川橋



鹿背山高架橋の目隠しパネル

○生活環境への配慮

環境対策について地元調整の結果、事業推進にあたり実施する事項

◆鹿背山高架橋の目隠しパネル

- ・走行車両のライト遮断、落下物防止

◆植栽計画

- ・緑化ブロックによる自然環境の回復

◆排水性舗装

- ・走行車両騒音の低減 等



緑化ブロック、排水性舗装

受賞歴・報道資料

【京都府・京都国道事務所の共同プレス資料】

国土交通省 近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism

京都府
Kyoto Prefecture

令和 2年 1月 22日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局 京都国道事務所
京 都 府

3月15日(日) 木津東バイパス・東中央線が同時開通します
～まちづくりを支援する、新たなネットワークが完成～

○国土交通省が整備を進めている国道163号木津東バイパス(京都府木津川市木津天神山～同市木津馬場南)の延長0.6km及び京都府が整備を進めている都市計画道路東中央線(京都府木津川市木津～同市山城町上粕)の延長1.4kmが、令和2年3月15日に同時開通します。

○今回の開通により、大谷交差点～木津川橋交差点の新たなネットワークが国道163号になります。

○開通式典の概要については、後日お知らせいたします。

※
■今回の開通による主な整備効果

- ①まちづくりの支援
- ②交通混雑の緩和

【令和2年2月7日(金) 京都新聞(山城版)】

木津東バイパス、東中央線
来月15日、全線開通



3月15日の開通に向けて工事が進む「木津東バイパス(木津川市木津の大谷交差点から東を流す)」

「木津東バイパスと同時開通する「東中央線(木津川市山城町上粕から南を流す)」

国土交通省京都国道事務所と府はこのほど、木津川市内で整備を進めている「木津東バイパス」と「東中央線」の全線が3月15日に同時開通すると発表した。

木津東バイパスは、

これにより、大谷交差点から同地区を通り、木津川橋を渡って同市山城町上粕につながる新たなルートが完成。同地区へのアクセス向上、これまでの交通混雑区間の解消が期待される。

(途賀祐介)

国道24号と163号の重複区間南端の大谷交差点から関西化学術研究都市「木津中央地区」の城山台地区へとつながる東西0.6km。東中央線は同地区を南北に貫く都市計画道路で、未完成だった城山台の北端から、新設した「木津川橋」を含む1.4kmが開通する。

※東中央線は、木津東バイパスと同時に3月15日に開通し、同日、近畿地方整備局及び木津川市との共催で開通式典を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。